

コラム

# みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.56

## 社会の決めつけからの解放 ～居心地の悪さは男も女も同じ～

一年の中でイベント開催が多い10月は、コロナ慣れしたためかオンライン開催ではなくリアル開催が多くなったようです。“みやちゃん”こと宮原富士子さんは、講師として全国各地のイベントに現地参加するために移動で忙しく過ごしました。彼女をおっかける私も公私ともに多忙をきわめ、本原稿を書くのが遅くなってしまいました。

10/18～10/24はメノポーズ週間であるため、10月19日、「メノポーズフェスティバル浅草 女性の健康を考える講和会」が浅草公会堂で開催（みやちゃんが理事長をつとめるNPO法人HAPと大塚製薬株式会社との共催）されました。

この日、最初の講演者として登場したみやちゃんは、「女性の包括的健康支援とは」について話し、続いて浅草かんわネットワーク研究会副理事長の倉持雅代さん（看護師）が「地域の看護師に知ってほしい更年期のこと」というタイトルで話しました。最後は、Bene浅草センター長の直林奈月先生が「性成熟期から更年期のヘルスケア」について女性の人生を過ごすヒントとなる中身の濃いお話しをされました。

その翌日の10月20日、台東区内の生涯学習センターで「女性薬剤師と考える健康と未来」（はばたき21ドリームプロジェクト/主催、台東区立男女共同平等推進プラザ/共催）が開催され、講師として参加したみやちゃんは「地域薬剤師の活動について」という題目で話しました。これは2週連続企画で、2回目は10月27日に行われました。残念ながら私は九州に帰省する期間と重なったため、2回目に参加することはできませんでしたが、多くの参加者があったと聞いています。

ところで、日本の祝日にはなっていませんが、たくさんの「〇〇デー」というものが存在します。調べものをしていたら「何の日ガイド」というサイトがあり、なかなか

か興味深いものだと知りました。関心をお持ちの方は是非いちどアクセスしてみてください。

このサイトを見つけた11/19は、「国際男性デー」で、そのせいかこの日のネットニュースも男性問題絡みが多くありました。ちなみに、3/8が「国際女性デー」であるため、女性の包括的健康支援を目的に活動するNPO法人HAPは、当然ですが女性が生きていく上で直面する問題に関するイベントを開催しています。

[11月19日は何の日（記念日、誕生花） | 何の日ガイド](#)

驚いたのは、男性が（特に）職場でセクハラ被害、家庭で配偶者からDV被害にあっているのに公的な支援機関に相談しても信じてもらえず問題解決に至らないという記事です。職場でのセクハラはよく耳にしますが、家庭でのDVで男性側が被害者というのは、（私は）あまり聞いたことなくとても驚いております。

男女間では基本的に体力の差が歴然としているため、暴力による加害者は男性だという認識がありますが、被害者の声からはそうではないようです。どなられたりなぐられたり、文句や罵倒されても我慢、お小遣いはなきに等しい、寝ている時に首をしめられたり、性行為を強要されたり……小さい頃から「男は女を守るもので暴力はいけない」と刷り込まれてきた男性たちは、「自分が我慢すればすむ！」と言い聞かせ忍耐を重ねたそうです。

何より、男性である自分が（一般的に）弱い立場の女性から攻撃されていることや間違った結婚をしたことを周囲に知られたくないという意識が強いようです。自治体の支援体制が女性前提のため決心して相談しても信じてもらえないという現状……嫌だと思ふ気持ちに男女差はありませんよね。「男はこうあるべきだ」という性差による決めつけ（ジェンダートラッキング）のない支援体制、社会の構築が求められると思います。

この原稿を書いている日、で歌手・俳優の中山美穂さんの訃報がはいつてきてショックをうけました。国民的スターでしたため同じような思いをされた方は多いことでしょう。死因は「入浴中の不慮の事故」ということですが、一人暮らしで、浴槽で冷たくなっていたことを想像すると心が痛みます。冬の入浴は温度差が大きいとリスクを伴いますので注意が（特に湯上り）必要ですので気を付けてください。